

双曲割引を持つ異質な家計の一般均衡動学分析*

大阪大学大学院経済学研究科

小島健[†]

概要

本稿では双曲的な時間割引因子を持つ複数の異質な家計 - ナーフとソフィスティケート - が存在する世代重複モデルを用い、異質な家計が資産市場を通じて相互に作用する一般均衡の分析を行う。はじめに、ナーフの誤った信念に基づく合理的期待形成について定義する。ソフィスティケートとナーフがそれぞれの期待形成によって異なったポートフォリオを構築し、一般均衡下においてナーフが不利な資産運用をする結果として、ソフィスティケートによる構造的な搾取が生じるメカニズムを示す。また、通常の均衡以外に、搾取によって一部のナーフの消費量が下限に張り付いた状態の均衡（枯渇均衡）が存在する。加えて、この枯渇均衡に陥る可能性は、以下の場合により高くなる。(i) 現在バイアスの程度が高くなる場合、(ii) 長期の割引率が低くなる場合、そして、(iii) ソフィスティケートの人口がナーフの人口よりも相対的に多くなる場合である。そして、それぞれの均衡における資産価格経路を導出している。枯渇均衡では、返済方法によって資産価格経路が異なる。

キーワード： 搾取、枯渇均衡、双曲割引、一般均衡分析、異質な主体

* 本稿の作成にあたり、池田新介教授（大阪大学）、祝迫達郎准教授（大阪大学）、二神孝一教授（大阪大学）から数多くの有益な示唆を頂いた。記して謝意を表したい。もちろん、本稿中のすべての誤りは筆者に帰するものである。

[†] 大阪大学経済学研究科博士前期過程2年。E-mail:mge007ot@student.econ.osaka-u.ac.jp